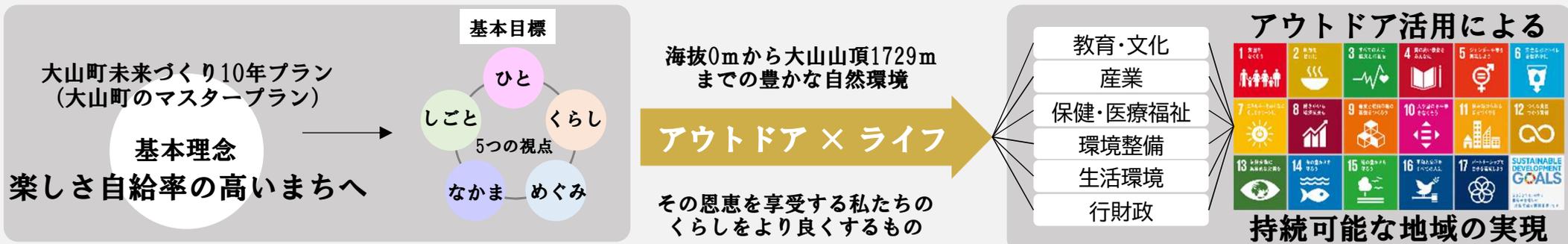


大山の恵みと生きる

# 大山町アウトドアライフ構想

大山町

# 大山町アウトドアライフ構想のめざすもの



大山町未来づくり10年プランの基本理念「楽しさ自給率の高いまちへ」を実現するために、日本海から大山山頂までの豊かな自然環境と、そのもとの育まれた文化・歴史・食などの資源を再認識し、アウトドア(自然環境や自然と触れ合うこと)とライフ(大山の恵みを受けたくらし)をキーワードとして、あらゆる行政分野でアウトドア活用の視点を持った取り組みを推進し、民間活動とも連携した取り組みに広げることで、持続可能な地域の実現を図る。

## アウトドア環境の整備・活用による持続可能な地域の実現

環境×アウトドア	地域経済×アウトドア	社会生活×アウトドア
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境の保護と活用による資源の循環</li> <li>・エコな移動手段などによる脱炭素化</li> <li>・自然との触れ合いを通じた学びの獲得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域産品の域内消費による販路確保</li> <li>・交流人口の増加による消費額増加</li> <li>・アドベンチャーツーリズムの商品化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康年齢の延伸、災害への備え</li> <li>・地域課題の解決につながるビジネス創出</li> <li>・クオリティ・オブ・ライフの向上</li> </ul>

### アウトドア基盤整備

### サービス・価値提案

### 観てよし、居てよし、住んでよし

- 町の環境・経済・社会などの地域課題の解決に向けて、豊かな自然環境を活用したアウトドア基盤を整備し、自然からの学びやさまざまなまちの資源が循環する大山の恵みとの共生が図られるライフスタイルを構築。
- 町のいろいろな取り組みに豊かなアウトドア要素を掛け合わせ、新たな価値の創造と地域の課題解決を同時に達成し、「観てよし」、「居てよし」、「住んでよし」となる持続可能(サステナブル)な地域の実現をめざす。

大山の恵みと共生する持続可能な「**アウトドアのまち大山町**」

# 大山町アウトドアライフ構想の取り組みイメージ

(アウトドアから各分野へのアプローチ)

## 観てよし (短期滞在)

観光・消費などの短期的な交流人口増加  
ここにしかない楽しみ方の提案

## 住んでよし (住民)

アウトドアを基盤とした町内資源の循環・有効  
活用による持続可能で住みよいまち  
郷土愛を感じるふるさとの創生

## 居てよし (中・長期滞在)

ワーケーション・お試し移住等の中長期的な交流人口増加  
ここにしかない魅力的な共生スタイルの提案

アウトドアを活用した  
持続可能な地域の実現

### 観光

- ・自然・文化歴史・食の体験を複合的に提供するアドベンチャーツーリズムの推進
- ・大山観光に関する情報発信力の強化

### 環境

- ・自転車などの人力による移動手段による脱炭素化
- ・生物多様性、環境保全

### 農林水産

- ・森林・里地里山の荒廃抑制
- ・一次産業の担い手確保

大山の恵みとの共生が図られ  
資源が循環するライフスタイル  
『アウトドアのまち大山町』

### 社会

- ・自然との触れ合いから楽しく学ぶ生きる知恵と防災力
- ・自然との共生によるクオリティ・オブ・ライフの向上

### 商工

- ・町内産品・商品の高付加価値化
- ・アウトドア利用者に優しいサービス提供

サービス・価値提案

### 健康

- ・豊かな自然を活用した健康づくり
- ・自然を感じてリラックス

自然環境の保護と活用

アウトドアへの関心と親しみ

拠点施設整備・有効活用

土台となるアウトドア基盤整備

# 大山町アウトドアライフ構想による観光からのアプローチ (体験・滞在型観光の推進に向けたアウトドア基盤・交流軸の構築)

ヤマチカ

自転車を活用したまちづくり  
**アウトドア×健康×環境**

日本遺産や大山寺旧境内などの文化歴史体験  
**アウトドア×文化歴史**

合宿などと連携した自然体験・自然保護教育  
**アウトドア×教育×スポーツ**

**山の観光・アウトドア拠点**

大山参道市場  
下山・豪円山キャンプ場

日本海と大山をつなぐ観光拠点整備  
**アウトドア×農林水産×商工**

鳥取うみなみロード・自転車活用

境港から浦富海岸までの全長140kmのロングルートを活かす海の観光機能強化と町の海と山をつなぐエコで緩やかな時間を味わう観光を提案する。

皆生大山ルート拠点整備

山陰道淀江IC付近に、皆生と大山をつなぐ拠点となる滞在施設整備を行い、町内の海や山へ誘導し、観光消費額と入込客数の増加を図る。

夕陽の丘神田

サトチカ

海拔0mから大山山頂1729mまでの豊かな自然環境とまちの特色を活かした体験・アクティビティの充実による観光の推進  
**アウトドア基盤の構築⇒まちのライフスタイル**  
**大山の恵みと共生する楽しさ自給率の高いまちへ**

山陰道中山IC  
なかやま温泉ナスパル

山陰道淀江IC  
山陰道大山IC

里山の観光・アウトドア拠点整備

里山のアウトドア・スポーツ拠点として機能を充実させ、海と山を中継する里山の特色を活かした体験や教育を通じてアウトドアへの関心と親しみを育む。

海の観光・アウトドア拠点整備

既存の海産物直売所と海鮮の飲食店に加えて、海側の観光拠点として、海のアウトドアアクティビティ、ベースキャンプやサイクリストの中継基地としての機能を有するエリアへ機能向上を図る。

**海の観光・アウトドア拠点**

御来屋漁港  
ウミチカ

アウトドア・マインドの醸成 海山里のアウトドア観光拠点機能強化 サイクリストの受入環境整備

**『アウトドアのまち大山町』の推進を図るアウトドア基盤の構築**